

【参考 2】

県では、平成 26 年 7 月から 12 月にかけて、県内で流通している鶏肉、豚肉及び豚レバーについて、食肉との関連が深いカンピロバクター等 3 種類の食中毒菌について検出状況を調査しました。

今回の調査では、腸管出血性大腸菌は検出されなかったものの、カンピロバクターやサルモネラ属菌が一部の食肉から検出されました。結果は次のとおりです。

検査項目 \ 肉の種別	鶏 肉 (58 検体実施)	豚 肉 (31 検体実施)	豚レバー (20 検体実施)
カンピロバクター	26 検体から検出 (検出率 44.8 %)	1 検体から検出 (検出率 3.2 %)	2 検体から検出 (検出率 10.0 %)
サルモネラ属菌	24 検体から検出 (検出率 41.4 %)	1 検体から検出 (検出率 3.2 %)	4 検体から検出 (検出率 20.0 %)
腸管出血性大腸菌	検出されず	検出されず	検出されず